

平成 22 年 6 月 27 日現在

研究種目： 基盤研究（C）
 研究期間： 2007～2009
 課題番号： 19520591
 研究課題名（和文） 近世～近代初期山陰地域におけるたたら製鉄史の研究
 研究課題名（英文） It is studied initial San-in area about History of Tataru manufacture in - modern times in the early modern times
 研究代表者
 鳥谷 智文（TOYA TOMOFUMI）
 松江工業高等専門学校・人文科学科・准教授
 研究者番号： 10280439

研究成果の概要（和文）：近世後期～明治初年における出雲地域のたたら製鉄業の特徴について、山間部でたたら経営を行っている多くの経営者が、割鉄販売を経営の中心にしていることがわかった。海浜部でたたら経営を行っている田儀櫻井家の特徴は、割鉄の販売をしつつ、銚も大量に販売している経営形態をもっていることがわかった。

また、山内の様子や人々の移動について、八重滝鉦を例に紹介することができた。

研究成果の概要（英文）：About a characteristic of Izumo area Tataru manufacture in the ... Meiji early years in the latter half of the early modern times, perform mountains Tataru management; many; understood that a manager was by Waritetu sale in the center of the management.

The characteristic of the beach part Tataru the Tagi Sakurais who ran it understood that I had the management form that sold Zuku in large quantities while selling percent iron

In addition, about the movement of a state and people of Yamauchi, I was able to introduce Yaedaki Tataru to an example.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,400,000	420,000	1,820,000
2008年度	800,000	240,000	1,040,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
総計	2,900,000	870,000	3,770,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：近世史、近代史、たたら、技術史、製鉄

1. 研究開始当初の背景

たたら製鉄に関する研究は、現在まで
 （社）日本鉄鋼協会社会鉄鋼工学部会「鉄
 の歴史—その技術と文化—」フォーラムな

どが主催する工学系の立場からの技術史論、
 そしてたたら研究会を中心に進められてき
 たたたら製鉄遺跡発掘成果による考古学系

の立場からのたたら構造の分析、そして歴史地理学会を中心に進められた地理学研究によるたたら製鉄史がある。これらは膨大な蓄積を誇っているが、文献、すなわち古文書によるたたら製鉄史の解明については、近年、たたら経営史料が閲覧できるようになり文献史学からたたら経営を解明する動きが高まった。しかし、残存史料の閲覧量はまだまだ少量である。例えば島根県立博物館所蔵の家嶋家文書は目録作成を行い始めたばかりで、大半の史料が閲覧できていない。よって、山陰地域のたたら製鉄の経営状況は未だ掴めておらず、鉄師の経営比較など研究の余地がおおいにあると考えている。

2. 研究の目的

本研究は、近世～近代初期に隆盛を極める山陰地域のたたら製鉄業の歴史を明らかにするものである。すなわち、家嶋家文書など未整理の鉄山経営に従事する鉄師（たたら製鉄経営者）の古文書を整理し、目録を作成し、同時に重要史料の解読により、鉄師の鉄山経営の大規模化や鉄製品の流通の広域化について明らかにする。

本研究では、鉄師の家に保存されていた山陰地域の近世～近代の初めにおけるたたら製鉄業に関係する史料を多数閲覧し、目録がないものは目録化し、データベースを作成したい。また、新たな史料の発見にも努めたい。そして、それらの史料から各鉄師のたたら製鉄業の規模、経営状況、経済状況、流通状況、人々に与えた影響など基礎的な考察を行い、全国に影響を与えた山陰地域のたたら製鉄業の基礎的特徴を明らかにする。

3. 研究の方法

(1) たたら製鉄史研究について基礎的な知識、理論の不足を補足し、最新の研究成果

を取り入れるため、たたら製鉄に関する図書・論文を幅広く（日本史、工学分野、考古学分野、地理学分野など）収集する。

(2) たたら製鉄関係の古文書の整理及び文書目録作成を考え、未整理であった家嶋家文書（島根県立古代出雲歴史博物館所蔵（島根県出雲市大社町））、入間田部家文書（島根県雲南市掛合町）などの整理、保存処理、文書目録の作成を進める。

(3) たたら製鉄関係の古文書の写真撮影及び解読を考え、田部家文書（同家所蔵（島根県雲南市））櫻井家文書（同家所蔵（島根県仁多郡奥出雲町））、糸原家文書（同家所蔵（島根県仁多郡奥出雲町））、田儀櫻井家文書（出雲市立海辺の多伎図書館寄託（島根県出雲市多伎町））などについて撮影及び解読を進める。

4. 研究成果

(1) 明治初年における出雲地域のたたら製鉄業の特徴について、多くの鉄山経営者が、割鉄販売を経営の中心にしていることがわかった。特に、田部家、櫻井家、糸原家など山間部に経営の主体をおく大鉄師は、割鉄中心の生産、販売をおこなっているようである。

(2) 田儀櫻井家のたたら経営の特徴について、割鉄の販売をしつつ、銚も大量に販売している経営形態をもち、割鉄販売を中心とする山間部で鉄山経営を営んでいる鉄師の特徴と、石見地域における銚販売経営の特徴の両方をもっている可能性を指摘できた。松江藩領では、銚の大量販売を実施する鉄師はごく少数であることもわかった。

(3) 八重滝鉦を例にとり、山内の規模と人々の移動について紹介できた。

(4) 鉄の流通について試論を提示することができた。

(5) 「往古ヨリ鉄方御用留」(櫻井家文書)
などの重要文書について翻刻でき、分析を
加えることができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に
は下線)

[雑誌論文] (計5件)

- ①鳥谷智文、近世後期における石見国安濃郡
志学村富屋・富久屋の金融業について、島根
史学会会報、査読無、第47号、2009、17-33、
- ②鳥谷智文、明治初期の鉄山経営と輸入鉄増
加および諸品価格騰貴の影響、季刊考古学、
査読無、第109号、2009、77-80、
- ③鳥谷智文、周吉郡矢尾村の人口構成につい
て —「慶応4年周吉郡矢尾村宗門御改証拋
帳の分析」—、隠岐の文化財、査読無、第25
号、2008、1-7
- ④鳥谷智文、櫻井家所蔵史料「往古ヨリ鉄方
御用留抜書」、島根史学会会報、査読無、第
46号、2008、19-42
- ⑤鳥谷智文、明治初年出雲地域における鉄山
経営の基礎的考察(研究ノート)、たたら研
究、査読有、第48号、2008、20-31

[学会発表] (計9件)

- ①鳥谷智文、田部家鉄山経営に従事する
人々の勤務履歴—「文化十二年 旧記」
(田部家文書)にみえる事例の紹介—
「山陰におけるたたら製鉄史の比較研
究—近世・近代を中心に—、第2回客員
研究員検討会議、2010年3月6日、島
根県立古代文化センター
- ②鳥谷智文、近世後期における出雲国能義郡
鉄師家嶋家の経営進出 —出雲国飯石郡及
び伯耆国日野郡への進出事例—、たたら研
究会、2009年11月14日、日野町山村開発セ
ンター大会議室
- ③鳥谷智文、明治初年における秦家のたたら
経営、日本技術史教育学会 2008年度全国大
会、2008年11月15日、松江工業高等専門

学校

- ④鳥谷智文、松江藩における享保七年の鉄山
政策、2008年度広島史学研究会大会日本史
部会、2008年10月26日、広島大学
- ⑤鳥谷智文、明治初年における秦家の鉄山経
営、山陰宗門改帳研究会、2008年9月19
日、山陰研究センター(島根大学法文学部)
- ⑥鳥谷智文、出雲地域のたたら経営、刃物鋼
シンポジウム、2008年5月2日、和鋼博物
館
- ⑦鳥谷智文、明治初年における出雲国鉄師と
鉄山経、たたら研究会、2007年11月17日、
島根県立古代出雲歴史博物館 講義室
- ⑧鳥谷智文、広瀬藩領鉄山経営の様相 —飯
石郡竹尾村・入間村における鉄山経営を事例
として—、島根史学会、2007年9月22日、
島根県民会館303会議室
- ⑨鳥谷智文、八重瀧山内の特徴、山陰宗門
改帳研究会、2007年8月31日、山陰研究セ
ンター(島根大学法文学部)

[図書] (計12件)

- ①鳥谷智文、近世～近代初期山陰地域にお
けるたたら製鉄史の研究(科学研究費補助金基
盤研究(C)研究成果報告書)、2010、100
- ②鳥谷智文、台場をめぐる兵器等の備品と
人々、出雲市の文化財報告11十六島湾台場
跡群発掘調査報告書 網屋浜台場・河下台場
跡、2010、73-76
- ③鳥谷智文、廻船の往来と港 —松江・安
来・美保関—、松江市ふるさと文庫10 松江
市史への序章松江の歴史像を探る、松江市教
育委員会(文化財課)、2010、66-70
- ④鳥谷智文・目次謙一・藤原雄高・庄司幸恵、
史料『田儀櫻井家文書「鉄山證文小日記」』
翻刻、出雲市文化企画部文化財課編、田儀櫻
井家たたら史料と文書目録、出雲市教育委員
会、2009、46-96

⑤鳥谷智文、田儀櫻井家の鉄山集積と鉄山経営の推移―田儀櫻井家文書「鉄山證文小日記」を中心とした分析―、出雲市教育委員会編、田儀櫻井家たたら史料と文書目録、出雲市教育委員会、2009、31-44

⑥鳥谷智文、「文化拾弍年 舊記」の検討、相良英輔編著、松江藩鉄師頭取 田部家の研究、文部科学省特別教育研究経費 島根大学「特別研究部門」研究プロジェクト（代表大庭卓也）、2009、35-64

⑦鳥谷智文、鉄山政策、海辺の鉄師、乾隆明編著、松江開府 400 年 松江藩の時代、山陰中央新報社、2008、107-112

⑧鳥谷智文、出雲地域のたたら製鉄業、池橋達雄監修、決定版出雲・雲南ふるさと大百科、郷土出版社、2008、139

⑨鳥谷智文、松江藩の鉄山政策、藤岡大拙監修、決定版松江・安来ふるさと大百科、郷土出版社、2008、82

⑩鳥谷智文、越堂鉦・掛樋鉦・聖谷鉦の歴史的变化、出雲市文化観光部文化財課編、田儀櫻井家たたら製鉄遺跡発掘調査報告書 ―平成 16～18 年度の調査、出雲市教育委員会、2008、106-111

⑪鳥谷智文、中村家文書にみえる奥谷鉦の経営状況、桜江古文書を現代に活かす会報告書～中村家古文書あ・ら・か・る・と～、桜江古文書を現代に活かす会、2008、47-50

⑫鳥谷智文、明治初期における鉄山経営の推移 一家嶋家・絲原家を中心に―、相良英輔先生退職記念論集刊行会編、たたら製鉄・石見銀山と地域社会 近世近代の中国地方、清文堂、2008、99-129

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

名称：

発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

鳥谷 智文 (TOYA TOMOFUMI)
松江工業高等専門学校・人文科学科・准教授
研究者番号：10280439

(2) 研究分担者 ()

研究者番号：

(3) 連携研究者 ()

研究者番号：

(4) 研究協力者

相良 英輔 (SAGARA EISUKE)
広島経済大学・経済学科・教授
仲野 義文 (NAKANO YOSHIFUMI)
石見銀山資料館・館長
藤原 雄高 (FUJIHARA YUTAKA)
石見銀山資料館・学芸員